

9 グリコヘモグロビン (HbA1c)

正常値(基準値)▶4.6~6.2%

この検査で何がわかるか?

糖尿病がどのくらいコントロールできているか調べる検査です。この検査は長期間(過去2~3か月)の血糖の状態を観察することができます。血糖値が直前の食事や飲酒によって変動するのに対して、グリコヘモグロビンの値は過去の平均値に応じて動きます。そのため、いまでは糖尿病の検査として重要なものとなっています。

疑われる病気や異常

◎値が高い場合

- 糖尿病

◎値が低い場合

- 溶血性貧血 ●糖尿病の経絡



10 血糖

正常値(基準値)▶70~110mg/dl(空腹時)

この検査で何がわかるか?

糖尿病発見の手がかりとなる検査です。血糖はからだをつくっている様々な組織細胞のエネルギー源となる大切な物質です。とくに脳のエネルギー源として重要で、過度に減りすぎると冷や汗、動悸が起こり、さらにひどくなると昏睡に陥ることにもなりかねません。



疑われる病気や異常

◎血糖値が高い場合

- 糖尿病 ●急性肺炎・脾臓がん
- 肝硬変・慢性肝炎
- クッシング症候群 ●甲状腺機能亢進症

◎血糖値が低い場合

- 高インスリン血症 ●肝硬変・脾臓がん
- 悪性腫瘍



11 白血球数

正常値(基準値)▶4,500~8,500/μl

この検査で何がわかるか?

白血球はからだの中に細菌やウイルスが侵入してくるとどんどん増えて、それらの外敵をやっつける働きをしています。つまり白血球が増えているということは、からだのどこかに炎症が起こったり、細菌やウイルスが入って病気が起きているということを示しています。



疑われる病気や異常

◎増えすぎている場合

- 炎症、白血病、肺炎、胆のう炎、肺炎、腎炎など
- 外傷
- 心筋梗塞
- 白血球: 30,000~50,000/μlとときに100,000/μl以上

◎減りすぎている場合

- 脾臓病 ●悪性貧血、再生不良性貧血
- 放射線や抗がん剤の副作用

12 尿酸

正常値(基準値)▶男3.0~7.8mg/dl 女2.5~6.8mg/dl

この検査で何がわかるか?

尿酸というのはプリン体という物質の燃えカスです。通常は老廃物として尿といっしょに排泄されます。魚介類や肉類などプリン体を含む食品をとりすぎたりして尿酸が増えすぎると、足の親指や膝の関節などに炎症を起こします。これが痛風です。また腎臓では、炎症を起こしたり腎臓結石の原因にもなります。

疑われる病気や異常

◎値が高い場合

- 痛風 ●高血圧、心不全
- 腎炎・腎結石 ●妊娠中毒症
- 動脈硬化をすすめる



13 尿素窒素(BUN)/クレアチニン

正常値(基準値)▶8~20mg/dl
正常値(基準値)▶0.5~1.5mg/dl

この検査で何がわかるか?

クレアチニンは、腎臓の排泄機能障害の程度によって高い値を示し、尿素窒素より食事や運動の影響を受けず安定した数値が得られます。尿素窒素は腎臓機能以外のいろいろな因子により影響されるので、異常値の場合は尿素窒素/クレアチニン比を見ることが大切です。

尿素窒素	> 10	→腎臓以外に異常がある
クレアチニン		
尿素窒素	< 10	→腎臓機能に異常がある
クレアチニン		

疑われる病気や異常

BUN

- ◎高い場合
- 腎臓疾患 ●心不全 ●嘔吐、下痢、高熱、脱水 ●糖尿病 ●腸閉塞

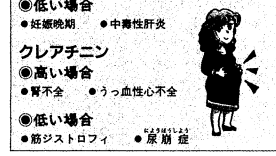
◎低い場合

- 妊娠晩期 ●中毒性肝炎

クレアチニン

- ◎高い場合
- 腎不全 ●うっ血性心不全

- ◎低い場合
- 筋ジストロフィー ●尿崩症



6 心電図

この検査で何がわかるか?

心臓の筋肉の異常、不整脈(リズムの乱れ)、心臓肥大、冠状動脈硬化(心臓をとりまいて栄養を与える動脈の動脈硬化)の有無などがわかります。心臓は縮んだり、元に戻る時にごく弱い電気を起こし、この電流の変化を波形のグラフで記録したものが心電図です。

疑われる病気や異常

- 不整脈 ●心臓肥大 ●狭心症
- 心筋梗塞 ●心不全
- 先天性心疾患



7 胸部X線撮影

この検査で何がわかるか?

胸部X線撮影は、肺や心臓の状態を知ることができます。呼吸器系では肺結核や肺がんなどの早期発見に役立ちますし、循環器系では、心臓肥大や大動脈の硬化などが発見できます。

疑われる病気や異常

◎呼吸器系の場合

- 肺結核および肺結核の治癒所見
- 肺炎、気管支炎 ●肺がん
- 肺気腫 ●肺線維症

◎循環器系の場合

- 心臓肥大 ●大動脈硬化症



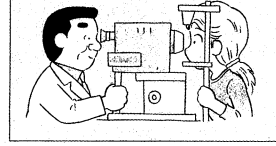
8 眼底検査

この検査で何がわかるか?

高血圧や動脈硬化の進行度、眼珠の病気、脳腫瘍、糖尿病などの発見の手がかりになります。眼底の血管の状態は脳の血管とよく似た変化を示し、からだの中で唯一、直接血管が見えるところです。高血圧の場合、動脈は細く硬くなり、さらに悪化すると出血や斑点ができたりします。このような変化で全身の血管の状態を推測できます。

疑われる病気や異常

- 高血圧 ●網膜剥離
- 動脈硬化 ●視神経炎
- 糖尿病 ●脳腫瘍



(資料：東京法規出版「わが家の健診物語」より)